

令和5年度 特別支援教育目標

一人一人の子どもの実態を把握し、個に応じた適切な指導を行うことにより、社会生活の中で心豊かに主体的に生きていこうとする子どもの育成に努める。

ひまわり1組 学級経営案

担任 小川 誠

目標			一学期	二学期	三学期	
1 他者と関わり、自分のよさに気付くことができるようにする。 2 成功体験を積み、自信をもつことができるようにする。 3 多くに「気付き」「考え」「実行する」できるようにする。 4 自分のことは、自分でできるようにする。						
学級重点目標	1	自他のよさを自信にかえて、登校することができる。				
	2	学校生活に短期・長期の見通しをもつことができる。				
	3	自分のことを自分で解決することができる。				
	4	子ども・保護者が、学級のよさを感じることができる。				
学級経営の具体策	I 豊かな心と健やかな体	1	当番・係活動を自覚し、工夫することで、学級への所属感を感じ、成功体験を積み上げることができる。			
		2	交流学級での役割や友達との関わりを積み上げることで、交流学級での学習に参加することができる。			
		3	生活習慣を整え、準備等のあるよさを実感することで、他者に甘えず、自律することができる。			
		4	遊び・活動する機会を増やすことで、運動の楽しさや他者と交わるよさを感じることができる。			
		5	不審者対応や交通安全等の意識を高めることで、自分の命を守る安全意識をもって生活できる。			
	II と確かな伸学力	1	長期・短期の学校生活への見通しをもつことで、落ち着いて毎日を過ごすことができる。			
		2	子どもの実態に応じた学習方法で取り組むことで、学びの楽しさを実感することができる。			
		3	本にふれる機会を増やすことで、本に慣れ親しみ、「家族読書の日」の取組ができる。			
	III 信頼される学校	1	学校・家庭との連絡を取り合い同じ言葉掛けや取組をすることで、規則正しい生活を送ることができる。			
		2	個別の指導計画を作成・更新し、具体的な短期目標を示すことで、目標をもって生活することができる。			
		3	学校・家庭・地域のつながりに気付くことで、家庭や地域に感謝の気持ちをもつことができる。			